たまき社協だより

2016.8 No.59

編集・発行　社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596-58-6915 / FAX 0596-58-6916
ホームページ　http://tamasya.or.jp/
E-mail　tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人

旧夢工房跡地

山岡水源地

田丸排水処理場

玉城町役場

アクティブシニア 玉城町老人クラブ連合会

老人クラブ連合会（見並健一会長）では、会員60名が奉仕活動として町内4か所に分かれ7月8日、草刈りやゴミ拾いを行いました。

　老人クラブの活動は、地域社会に対する感謝と担い手としての活力を示すことを目的に取り組んでいるもので、この日は、蒸し暑い天候にもかかわらず、みなさん、日ごろから農作業などにも慣れているのか、草刈り機のエンジン音も高らかに生き生きと活動されている姿が印象的でした。

　高齢期を楽しく、生きがいをもって安心して暮らしていくために、健康で自立し身近な仲間と支え合いながら地域づくりを進めていく。このような老人クラブ活動の本旨に触れた一コマでした。

　町も65歳以上の方が4人に1人を占め、地域を基盤として活動する老人クラブ活動への社会的な期待は、ますます大きくなっています。超高齢社会を明るく、豊かで活力あるものにしていくために活動へご参加ください。

　お問い合わせは、社会福祉協議会事務局（☎58－6915）まで。

平成27年度 玉城町社会福祉協議会事業報告

平成27年度を振り返って

平成27年度は、地域福祉活動計画とも言える第２期「地域ふくし力向上計画」がスタートし、同時に町では総合計画後期基本計画の地域福祉活動指標に本計画を位置づけ、重要な役割を担うこととなりました。このことは、コミュニケーション力のさらなる向上や子どもから高齢者まで世代を越えた幅の広い福祉共育に一段と弾みをつけることになりました。

しかし、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムにおいて、助け合い支えあいの共助・互助の層となるボランティアなどの地域資源が減少傾向にあったり、生産年齢層の地域福祉への参加意識の希薄化が顕著に現れ、今後の福祉共育は社協活動における重要な役割であると感じました。

また、今年度は第２のセーフティーネットとも言える生活困窮者への支援も制度化され、町や県社協との連携で生活自立支援事業が本格化した他、障害者への支援に向けた計画相談事業を開始するなど、生活弱者への支援を強化してきました。

一方、在宅介護分野においては、介護報酬の改訂もあり訪問介護事業、通所介護事業において利用者の減少と相まって前期大きく収入が落ち込む場面もありましたが、職員一丸となり業務改善に努めてきました。

バス事業、シルバー人材センター運営についてもニーズにあったサービスが提供でき、平成27年度における事業方針を概ね実現できたと考えています。

平成27年度の事業内容について、主な事業を紹介します。

〈法人運営〉

法人運営の経営体制の強化

①理事会・評議員会開催

社会福祉協議会会員制度等の推進

①社会福祉協議会会員の加入促進及び地域福祉活動費への協力

		会員口数	会　費
個人会員	300 円／口	1,914 口	596,780 円
団体会員	5,000 円／口	61 口	315,000 円
賛助会員	10,000 円／口	20 口	200,000 円
計		1,995 口	1,111,780 円

※端数金額が含まれているため口数と金額が相違します。

②寄附金

寄附金額	1,775,445 円

※その他、美和ロック㈱労働組合からテント１張

③チャリティーバザーの開催（町桜まつりチャリティバザー）

金　額	50,805 円

役員・職員等の資質向上研修の取り組み

各種関係機関・団体との連携強化

①民生委員児童委員協議会活動

・民生委員・児童委員33名、主任児童委員２名

②福祉協力員の連携

・委員構成21名

③福祉団体活動の支援

④町や事業所間の連携

〈地域福祉事業の推進〉

身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくり（老人福祉活動事業）

①サロン事業の支援と推進

・高齢者サロン　町内６か所（13字区）

・お風呂サロン

②ほのぼの便（安否確認）

利用人数１４７名

③歳末援護事業（まごころ弁当）

利用人数１５４名

④ホッとサークル（介護者のつどい）年４回開催

延べ参加人数32名

⑤ぴんの会（独居高齢者支援事業）

年12回開催

延べ参加人数４６６名

⑥給食サービス　年19回配食

延べ利用者数４５６名

⑦楽笑会（らくしょうかい）

４校区開催（下外城田44名、有田53名、外城田70名、田丸81名参加）

⑧備えトコ（防災啓発グッズ配布）

配布人数30名

積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）

①元気ですたまき事業

・委員会の運営　委員12名

・あいさつ強化運動（毎月第３火曜日）延べ参加人数６０５名

・健康しあわせ委員会協働（ふれあいウォーキング、しあわせの一行詩募集）

・地域福祉座談会の開催（玉城中学校）

あいさつ強化運動の様子

②車いす貸出事業　41件

③福祉共育事業

・たまリンピック２０１５

参加者61名

・手話っちカフェ　参加者20名

ボランティア活動及び福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）

①ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

・ボランティアセンター活動の充実《ボランティア登録者数４３４名、ボランティア団体21団体、ボランティア団体への支援の助成１２８，６００円／８団体》

・ふれあい福祉サービス（ちょこっと有償ボランティア）《登録利用者人数９名、延べ利用回数２４２回》

②児童生徒の福祉意識の高揚

・福祉体験教室の開催

延べ参加人数38名

・福祉協力校の育成及び活動への助成３９３，０００円（小中学校５校）

・福祉協力校連絡会の開催

・児童生徒の福祉参画促進

・子育てサロン

延べ参加人数２０８名

③ふくし共育活動への参画

・防災・災害ボランティア活動

障がい者の自立と社会参加の促進（障がい児・者福祉活動事業）

・はっぴぃサークル　年６回開催

延べ参加人数65名（対象児のみ）

〈相談・援助事業〉

福祉相談機能の充実強化

・心配ごと相談12件

・窓口総合相談22件

福祉サービス利用に関する相談援助事業

①日常生活自立支援事業

利用人数10名

②生活困窮者自立支援事業

・自立相談支援事業12名

・家計相談支援事業１名

・就労支援事業５名

〈受託事業の運営バス事業〉

①研修バス　利用件数２５０件

②福祉バス

延べ利用人数２，８７６名

③元気バス

登録者数１，４３１名

延べ利用人数２５，６７７名

④すまいるバス（介護予防事業参加者への移動支援バス）

延べ利用人数１，７８１名

〈募金活動の推進〉

日本赤十字社募金（５月）

１，７０７，３００円

共同募金と歳末助け合い募金

１，８４７，９５０円

災害義援金

※日本赤十字社を通じて送金

①元気ですたまきまつり収益金より

・ネパール支援義援金３７，６７３円

②桜まつりチャリティーバザー収益金より

・東日本災害義援金１０，０００円

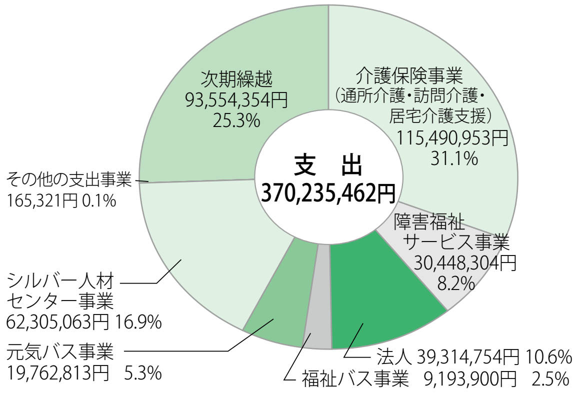
・２０１６年台湾地震救援金１０，０００円

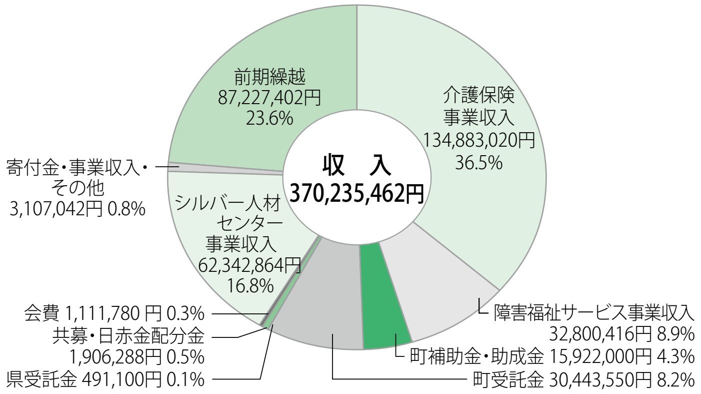
〈地域住民からのニーズ事業の実施〉

シルバー人材センター事業

延べ作業人数２，４１０名

平成27年度 玉城町社会福祉協議会収支決算





元気ですたまきまつり開催

お天気を願った6月5日（日）、まつりの朝は、あいにくの雨模様。イベントの準備もあわただしくなりました。

今年度のまつりのテーマは、『和から絆へたまき人』。町内外から福祉関係団体、地域活動団体等の参加を得ることができ、今年の参加数は、約50団体。

オープニングは、ふれあいホールで、会長のあいさつに続き、玉城中学校吹奏楽部の演奏に合わせて「元気ですたまき」の体操を会場全体で行いました。吹奏楽部の演奏が梅雨空もはねのけるくらいに、元気にオープニングを飾ってくれました。

オープニングを飾る玉城中吹奏楽部

まつりには、ボランティアによる絵手紙、親子で楽しめるマスキングテープを使ったコーナーや福祉施設のレクリエーションなどの体験コーナーが人気で、健康チェックや民生委員による〝じゃがバター〟のふるまいもにぎわっていました。

子どもから高齢者まで幅広くご来場いただき、会場内を楽しんでいただきました。

他に会場内では、熊本地震の救援・復興支援の募金箱を設置し、チャリティービンゴ参加費で得た収益と合わせて28，957円、日本赤十字社を通じて、被災地に贈りました。

また、玉城の福祉のイベントを盛り上げようと、少しずつ参加団体も増えています。ボランティアや福祉団体のみなさんの協力のもと、来場者のみなさんとの出会い・つながり、様々な福祉活動にふれる機会を催すことができたまつりとなりました。

※元気ですたまきまつりは、共同募金配分金及び社協会費を充てています。

まつりを楽しむ様子

日本赤十字社三重県支部コーナー

防災ボランティアコーナー

チャリティービンゴ

絵手紙　ゆずりは会コーナー

福祉施設　宮の里コーナー

母子福祉会による綿菓子

■民生・児童委員協議会

まつり内では、民生・児童委員協議会により「じゃがバター」と「フライドポテト」が振る舞われました。

これは、民生委員産のじゃが芋で、種芋を植えるところから始め、丹精込めて育てられたものです。

みなさんにたべていただくのであればと、3月頃植え、5月25日に収穫にあたりました。

みなさん、お召しあがりいただけたでしょうか。

㊤じゃがいも掘りの様子
㊨じゃがいも苗の手入れ

また、防災アンケートを継続して行っており、その中で少し心配だったのが、となり近所との会話があるかとの問いに、半数以上の方ができていないと回答されたことです。

あいさつを最初のきっかけとして、ご近所同士顔の見える関係を築いていただければと思います。

（単位：人）

項　目	はい	いいえ	合計
自分の地区の避難場所を知っていますか。	86.5%	13.5%	111
	96	15	
災害時の非常持ち出し袋の用意と点検ができていますか。	44.1%	55.9%	111
	49	62	
家族との連絡が取れるようになっていますか。	80.0%	20.0%	110
	88	22	
自宅の耐震診断ができてていますか。	36.1%	63.9%	108
	39	69	
となり近所の人と会話していますか。（あいさつ、日常会話など）	33.3%	66.7%	108
	36	72	
家具の固定をしていますか。	92.1%	7.9%	114
	105	9	

■元気ですたまき委員会

昨年度からスタートした第2期「玉城町地域ふくし力向上計画」では、玉城町に在住、在籍、在勤者で町への町民意識（玉城町を思う気持ち）を持つ全ての人を『たまき人(びと)』と称しています。

この『たまき人』を広く周知していくために、6月5日のまつりの会場内では【わたしの「たまき人」宣言！】のコーナーを設け、来場者の方に私は、玉城の○○が好き、○○がしたい、○○ができるなど、玉城を思う気持ちを宣言していただきました。

また、それを顔写真入りのカードに作成して、認定たまき人カードを進呈しました。

認定たまき人カード

この日は、城山が好きなたまき人や笑顔であいさつしたいたまき人など55名の方が宣言しました。

「たまき人(びと)」のマーク決定!!

このマークには、玉城を象徴する桜を人に見立て、一つのリボンでつながることをイメージされています。

作成は、玉城中学校美術部のみなさんに昨年度お願いしました。

一人ひとりが町のこと、町に関わるみんなのことをイメージして、考えていただき、いくつかの中から選考し、決定しました。

これから、このマークやカードに特典を設けながら、地域福祉の推進につなげていきたいと思います。

楽笑会　開始から5年目を迎える

地域の高齢者、子ども達、また民生委員などが交流の場を持つ『楽笑会』は、始まって5年目を迎えます。6月に有田小学校と下外城田小学校で開催しました。

有田小学校（参加者59名）

百人一首を一緒に行う様子

7日、小学4年生の授業内（5、6限目）で行いました。

4年生のみなさんは、招く地域の方をどのようにもてなそうかと考え、昔の遊びコーナーをいくつか企画してくれました。

お手玉3個を操る人に「すごーい」の子どもたちの声。昨年も参加された方からは、去年のあやとりのヒモが古かったのでと、新しく編んで持ってきてくれる方も見えて、参加を楽しみにしているのが感じられました。

子どもたちの中では、百人一首が流行っているらしく、グループに分かれ、子どもたちと参加者がペアになって交互に取って、行いました。大きな歓声とため息に包まれ、楽しいひと時を過ごしていました。

下外城田小学校（参加者44名）

手遊びの様子

3年生の児童が迎え入れてくれた会場は、元気に溢れていました。積極的な子どもたちが多く、初めの自己紹介からマイクなしでも大きな声であいさつします。

参加者とペアになっての手遊びは、参加者の出す手に子どもたちが自分の手を添えていきます。「ポンポンパ」の掛け声とともに、「わー」「おー」など合わせた時の声も出ます。

交流ゲームも絵でしりとりを行ったり、紙ひこうきをつくって、どこまで飛ばせるかなど楽しい企画を考えてくれていました。

一生懸命考えた内容は、参加者みんなに伝わり、この会に参加するのを楽しみに待っている参加者の声も聞かれました。

また両日とも、ボランティア虹の会の方々が美味しい水ようかんを作っていただきました。今年は、民生委員さんお手製の竹の容器に流し入れ、和菓子屋の店頭に出ていてもおかしくないくらいの出来栄えにおいしく舌鼓を打ちました。

2学期には、田丸小学校、外城田小学校での開催を予定しています。

手話を気軽に　手話っちカフェオープン

今年度、手話に関心のある方や障がいをお持ちの方が気軽に集まって、くつろぎながら障がいに対する理解を深めていこうと開催しています。

「わからない」「もう一度お願いします」など気軽に聞けて、参加者同士が教え合う。気軽に参加できるものとなっています。

カフェですので、おいしいお菓子と飲み物も付きます。

次回は、次のとおりです。どうぞ、ご参加ください。

日にち：平成28年8月6日（土）
時　間：午前10時～正午
場　所：玉城町保健福祉会館
参加費：100円

尾上民生委員　県民協会長表彰授ける

5月12日、県総合文化センターで「第13回三重県民生委員児童委員大会」が行われ、尾上利幸民生委員（城東団地）が会長表彰を授けられました。

長年、地域の相談員としての功績が称えられたものです。

尾上民生委員

町内でも　ボランティアでおもてなし「伊勢志摩サミット」

ゴミ拾いの様子

去る5月25日、26日は、G7の各国首脳をお迎えする伊勢志摩サミットが開催され、無事終了しました。

多くの警察官に、マスコミの報道、いつもの日常と違う雰囲気がこの期間ありました。

みなさん、どのくらい身近に感じたでしょうか?

そのサミットに合わせて、玉城町内でも4月の21日（木）、22日（金）とおもてなし活動を行いました。

まず21日には、毎年行うボランティア地域交流の活動をおもてなし活動と位置付け、町外から来られる方がよく利用するアスピア玉城周辺とピアゴまでの外城田川沿いを中心に2か所に分かれて行いました。

交通量の多いところだけに、ポイ捨てが多く、不法投棄されているものもみつけました。

少し小雨にも降られましたが、沿道をきれいにすることができました。

また、翌日には「花いっぱい運動」として、保健福祉会館、田丸駅前花壇、勝田交差点花壇の3か所の花の植替えを行いました。

マリーゴールドと金魚草が、町の中で彩り、出迎えの準備ができました。

花いっぱい運動

防災レシピで「防災の日」を考える

防災レシピのご紹介

阪神淡路大震災、東日本大震災、今年に入り熊本県でも大きな地震があり、当地域も早くから東南海地震の影響を受けると言われています。

玉城町にも、防災ボランティアが組織され、地域の皆さまへ防災・減災意識の向上に働きかける啓発活動を行っています。

その一つとして、いざという時に役立つ「ポリ袋を使ったあったかい非常食」として、炊飯とカレー作りのレシピをご紹介します。

【炊飯】

①ビニール袋を2重にして、その中にお米（1合）、水（200cc）を入れる。
※名前は、外の袋に書いておく。
②炊きあがるとふくれるので、空気を抜いて、上の方で結ぶ。
③そのまま、15分置く。
④たっぷり沸かしたお湯の中に静かに入れる。鍋肌につかないように、鍋の中にタオルをひく。
⑤30分炊く。⑥10分蒸らす。

【カレー】材料（1人分）

じゃが芋………80g
玉ねぎ…………80g
にんじん………30g
シーチキン…1／2缶
カレールー…固形1個
水………………50cc

作り方

①材料を適当な大きさに切りそろえる。（野菜は、小さく刻んだ方が熱の伝わりがよく、柔らかく煮える）
②袋の中で固形カレールーを水で溶かし、その中に材料を全部入れ袋の空気を抜いて、上の方で結ぶ。
（カレールーは、あらかじめ細かくして溶かしておくとよい）
③沸騰したお湯の中に袋ごと入れて、30分煮ると出来上がり。

ポリ袋を使ったレシピは、一度に複数の料理を調理することが出来、ポリ袋のまま器に盛りつけることで食器を汚さない工夫にもなります。

また、非常食で備蓄したものがよくそのまま消費期限を迎えてしまうということがあるかと思います。

非常時に備えて食べずに備蓄するのではなく、定期的に「非常食の日」を決めて日ごろから食べ慣れたものにする、食べたら買い足すという考え方もあるようです。

自分たちにあった災害時への備えをご家族、ご近所で話し合っていただいては、いかがでしょうか。

第82回

ライブスペース勢の！ in たまき

音楽？　音色　それは皆が
楽しくなったり　嬉しくなったり
心と心　音と音　人と人をつなぐ
今日という名の音楽は　今日にしか　生まれない
手と手　つないで　ほら…
どこからか　音楽がきこえてくるよ
ライブスペース勢の in たまき
どうぞ　ごゆっくり　お楽しみ下さい。

開催日時：平成 28 年 8 月 28 日（日）
13：00 ～ 15：00（12：30 開場）
場　　所：玉城町保健福祉会館ふれあいホール
入 場 料：無料
問 合 先：玉城町社会福祉協議会
担当：北岡・中西（☎ 0596-58-6915）
NPO 法人三重音楽療法地域推進協会（MT ちいき）
担当：かわにし（☎ 0596-23-1125）

主催：「ライブスペース勢の！ in 玉城」実行委員会
共催：玉城町地域自立支援協議会・玉城町社会福祉協議会・玉城町・NPO 法人三重県音楽療法地域推進協会（MT ちいき）
後援：玉城町教育委員会

日本赤十字社 玉城町分区よりお知らせ

日赤募金ご協力のお礼

5 月より区長様を通じ皆様にご協力頂きました募金は、1,597,950 円（H28. 6 . 末現在）となりました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

尚、ご協力いただいた募金は、日本赤十字社三重県支部を通じ「災害救助活動」や「国際活動」など赤十字の活動資金に活用されるほか、町福祉活動へも交付を受け、今年度行う「福祉体験教室」や「社会福祉大会」の事業費に充てさせていただきます。

平成 28 年熊本地震義援金贈る

善意をお寄せいただき、ありがとうございました。日本赤十字社を通じて、被災地に贈らせていただきました。

「今日も気分はニニ・ロッソ」in 三重実行委員会様	66,997 円
玉城町虹の会様	12,060 円
中角区様	30,000 円
旨かつ本舗かつ Q 玉城店様義援金	15,402 円
玉城町社会福祉協議会職員　一同	75,000 円

（6 月 30 日現在）

パナソニックデバイス労働組合伊勢支部では、いくつかの収集ボランティア活動に取り組まれています。

集めたものを今回下記のようにご寄附いただきました。

・ベルマーク ⇒
　外城田小学校・下外城田小学校へ
・使用済み切手 ⇒
　公益社団法人 日本キリスト教海外医療協会
　（海外における保健医療分野の支援協力）
・アルミプルトップ ⇒
　NPO 法人 たまき末芳園へ（町内障がい者作業所）

ご存知ですか？誰でも気軽に参加できるボランティア活動『ベルマーク運動』

『ベルマーク運動』には、「自分たちの学校づくり」と「へき地学校や開発途上国のお友達への教育援助」を行う 2 つの教育援助活動の機能があります。協賛された企業が登録した商品に（ベルマーク）をつけ、そのマークを集めることで、1 点が 1 円に換算されてベルマーク預金となり、その預金で、自分たちの学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入できます。すると、その購入金額の 10%が自動的にベルマーク財団に寄付され、さまざまな教育援助活動に使われます。ベルマークの商品は、現在 2000 種類以上あり、私たちの周りにもよくある商品についています。また、使用済みインク（トナー）カートリッジ回収でもベルマーク点数がもらえます。※但し、エプソンもしくは、キャノンの純正のものに限られます。

町内各小中学校でも取り組んでいる『ベルマーク運動』

マーク集めから始まるだれでも気軽に参加できるボランティア活動で、子どもたちを応援しましょう。玉城町社会福祉協議会へお持ちください。各小中学校にお届けします。

ベルマーク

身近な社協相談窓口ご案内

心配ごと相談（予約不要）

毎月10日、30日　13:00～15:00　玉城町保健福祉会館にて
相談員：民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員

ご寄附ありがとうございました。（4月～6月）

友の会様	12,000円
匿名様	39,749円
元気バス募金箱	99,541円